



新年のごあいさつ

三重県 生活・文化部
部長 安田 正

新年明けましておめでとうございます。NPO法人三重県防犯設備協会の皆様にはおだやかな初春をご家族でお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

またこのたびは、県が進めております「安全で安心な三重のまちづくり暮らしづくり事業」を受託していただき、その推進を図られておられることにつきまして厚くお礼申し上げます。

さて、この事業の背景につきまして少し説明させていただきますと、誰もが安全に安心して暮らせるまちは県民すべての願いであります。県内の刑法犯の発生状況は、戦後のピークであった平成14年の47,600件から6年連続で減少したものの、昨年は車上ねらいや自転車盗の増加が顕著で刑法犯認知件数を押し上げるという結果となりました。

また、交通情勢につきましては、交通事故死者が減少する傾向にあるなか交通事故死者に占める高齢者の割合が過半数を超えるなど、その対策が急がれています。さらに商取引の知識に係る格差につけ込む悪質商法が横行するなど、県民生活の安全と安心が懸念される状況が生じていますので、この状況に歯止めをかけ、安全で安心な明るく住み良い三重県を実現するために本事業を計画した次第であります。どうかこの事業が実りある取組となりますよう引き続き推進をお願いいたします。

安全で安心な地域社会を実現するためには、警察はもとより、貴協会や関係機関、事業者などが手を携えて取り組んでいくことが何よりも大切であると考えております。

まだまだ厳しい寒さが続きますが、皆様には、本来の仕事であります優良防犯機器、防犯システム機器等の防犯設備の普及促進などを通じまして、真に安全で安心な地域社会の形成にご尽力くださいますよう重ねてお願いし、簡単ではありますが私の新年のごあいさつとさせていただきます。

三重県の安全・安心まちづくり



NPO法人

三重県防犯設備協会

<http://www.miebouhan.com/>

■ ご挨拶

NPO法人 三重県防犯設備協会
理事長 松吉 善弘

会報誌第5号の発刊によせて

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましても、健やかに新しい年のスタートをきられたものと拝察いたします。

私共、NPO法人 三重県防犯設備協会も設立5周年を迎え心新たに本年の第一歩を踏み出しました。

これまで関係各位のお力をお借りして、県内各地で防犯の啓蒙と防犯設備の普及促進をめざし、講演会や展示会、防犯設備のアドバイスを行って参りましたが、今般、三重県生活・文化部様より「安全で安心な三重のまちづくり暮らしづくり事業」の委託を受け、直接県民の皆様へ防犯と交通安全の広報、啓発活動を行う機会を賜り、昨年12月21日より活動を開始させていただきました。

この事業を企画していただいた三重県生活・文化部の職員各位や当協会の関係者を縦糸とし、本事業推進のためお集まりくださった42名の人々を横糸にして色鮮やかな織物のごとく、見事な成果を残したいと存じます。

厳しい雇用環境の続くなか、新しく雇用させていただきました皆様と「一人でも犯罪被害者をなくそう、1件でも交通事故を減らそう」を合言葉に今日も元気に活動しています。

当協会も新しい活動領域を得て、より一層県民の皆様の「安全・安心な生活」に役立てるよう励んで参りたいと存じます。

会員各位の益々のご発展とご活躍をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

■ 協会の活動内容

1. 三重県からの「安全で安心な三重のまちづくり暮らしづくり事業」を受託・始動



12月21日の出発式(人権センターにて)



啓発活動を行うスタッフ(左側の写真は中日新聞より)



年末、年始に向け雇用・経済情勢の深刻化が懸念されるため、三重県が第六次緊急雇用・経済対策の一つとして実施する「安全で安心な三重のまちづくり暮らしづくり事業」を三防設が受託しました。

平成21年12月21日三重県の主催で三重県人権センターにおいて出発式が挙行され、三防設からは隊員40名と理事他6名が出席しました。

21日午後と22日は新しく開設した事務所でオリエンテーションが行われ、交通安全、対人マナー、防犯対策などの教育を行い23日から広報・啓発の街宣活動をスタートしました。

実施期間は平成21年12月21日から平成22年3月20日までの3ヶ月間で、「減らそう犯罪！交通事故！」をキャッチフレーズに当協会は中勢・伊賀地域と南勢・紀州地域を担当しております。

当協会として初めての本格的な事業で、業務内容はおもに防犯と交通安全および消費者トラブルの防止など下記の啓発街宣活動です。

主な活動内容

- ・「安全で安心な三重のまちづくり暮らしづくり隊」の名称で、4名が1チームで放送設備を備えた広報用自動車を使用して防犯や交通事故防止の広報活動を行う。
(中勢・伊賀地域 5チーム、南勢・紀州地域 5チームの計10チーム40名)
- ・定められた交通安全の日、高齢者交通安全の日、自転車安全対策強化日には街頭で早朝に交通事故防止の啓発活動を行う。
- ・駅、大型商業施設、金融機関などで啓発用パンフレットや物品の配布を行う。
- ・学校の周辺などで登下校時の見守りや啓発活動を行う。

- ・街頭で高齢者に対し犯罪被害や交通事故防止の啓発活動を行う。

スタートまでの隊員の募集から採用、事務所や備品などのインフラ整備等々、理事長や各理事の大変な努力により無事スタートすることができました。スタートして未だ1ヶ月足らずですが、今後は県、県警のご支援を頂きながら期待された成果を収めて無事終了できるよう努力して参ります。

(事務局 加藤記)

2. 自主防リーダー研修会で講演



リーダー養成講座の会場



住宅の侵入対策を説明

平成21年9月5日三重県の主催による「犯罪のないまちづくりリーダー養成講座」が開催され、同講座での講演依頼を受けて理事長はじめ7名の協会メンバーが参加しました。

初秋の晴天に恵まれた当日、会場となった津市桜橋の三重県津庁舎6階の大会議室にはいずれも県内各地で自主防犯活動に参加している方々約80名が集まり、日頃の防犯活動に役立てようと熱心に受講され、講演終了後の質疑応答も時間一杯まで多くのQ&Aが交わされました。

講演のテーマは「住宅の防犯対策」で、理事長の挨拶と講話に続き参加した協会メンバーが分担して約90分間の講演を行ないました。

パワーポイントや住宅ジオラマ、協会作成の防犯チェックシートなどを使い、壇上に展示した防犯機器や参考の品を随時ハンディカメラでスクリーンに映し出しながらの講演は参加者の関心を集め、実際に侵入盗の侵入攻撃に遭い、とうとう侵入をあきらめさせた防犯ガラス入りの住宅用窓サッシ（CPマーク付）などは侵入攻撃の痕跡も生々しく、リアルな説得力で非常に感心された受講者も多く見られました。

開演前にリハーサルも行ない講演は無事終了し、主催者から「大変有意義でした」との評価をいただきました。

(前組副理事長記)

3. 住まいと暮らしの総合展(四日市ドーム)で県警ブースに展示



三重県警察本部の展示ブース



来場者に説明する協会理事

中日新聞社の主催で、平成21年10月31日、11月1日 四日市ドームにて住宅メーカー各社が参加して「住いと暮らしの総合フェア」が開催されました。

三防設は前回（平成21年6月にメッセウイングみえで開催）と同じく県警のブースの一部をお借りして開設、防犯設備、テレビドアホンやCP錠の展示、実演と防犯ガラスの展示を行いました。

また、「侵入犯罪の実態と対応策」と題したパネルの展示や防犯相談コーナーを設けて防犯設備士が来場者の相談に対応しました。

2日目は全日本大学駅伝と重なりましたが、来場者は2日間で8,300名（主催者調べ）でブースの場所も良く大勢の来場者がありました。

中でも警戒場所に設置した監視カメラ映像を携帯電話に通報し、映像を確認のうえ音声威嚇などができる「携帯電波システムコントローラ」の実演、侵入被害を未然に防いだ防犯ガラスの現物展示などが話題を呼びました。

中には5回も侵入盗の被害を受けた方を始め、相談者の多くが実際に被害に遭われた方で防犯対策について熱心に質問されていました。

当日は県、県警の防犯チラシとともに防犯関連機器のカタログ、協会会員会社のご案内チラシなどを配布しました。

（事務局 加藤記）

4. 伊勢まつりで防犯機器を展示



にぎわう伊勢まつりの会場

伊勢の「大まつり」が名称を一新し、「伊勢まつり」として今年度から実施されることになりました。

今回「伊勢度会地区生活安全協会」様主催の地域安全展への出展協力依頼が当協会にあり、平成21年9月27日伊勢地区の理事2名で対応させていただきました。

会場ではCP錠と防犯ガラスを展示し、市民の皆様には「CP製品」の有効性と防犯の考え方などを広報いたしました。

防犯ガラスは、実際に侵入未遂に終わった破壊途中の防犯ペアガラスを見ていただき、CP錠は補助錠の追加で侵入盗をあきらめさせる事が防犯の第一歩とご説明させていただきました。

今後も凶悪化する侵入犯罪を未然に防ぐために、市民の皆様には防犯に対する意識を替えていただく活動を一步ずつ進めて参ります。

（宮嶋理事記）

■ 今後の活動計画

1. 防犯優良マンション認定制度事業化推進
2. 学童の安全対策に関する調査・研究
3. 県・県警と連携した防犯講習会開催
4. 全国地域安全運動への協賛
5. 防犯優良駐車場の事業化推進

車上ねらいの被害は、年々増加の一途をたどり、三重県においても平成21年1月から6月までの半年間で1,388件にのぼり、昨年に対して20%増加しております。

車上ねらいは屋外駐車場で起きるケースが全体の約7割で、最近ではカーナビなどが盗まれるケースも増えています。

県警でも重点施策に取上げられており、三防設は死角のない防犯カメラの設置と適切な照度確保を提案し、一定の条件を満たした駐車場を「防犯優良駐車場」に認定する制度の導入に向けて検討して参ります。

■ 関連行事・イベント、その他

1. 日防設と三防設が相互会員に

（社）日本防犯設備協会と当協会は相互の支援関係を堅固なものとするため平成21年9月10日相互会員に関する覚書を取交しました。

当協会は日本防犯設備協会の行う防犯設備に関する「調査・研究事業」、「防犯設備士事業」、「RBSS事業」を支援すると共に、これ等の事業の成果を有効活用しながら、三重県の安全・安心に向けた活動を推進して参ります。

2. 日防設特別セミナー「防犯カメラとプライバシー」を聴講

平成21年9月16日東京機械振興会館にて日防設主催の第9回特別セミナーが開催され当協会から松吉理事長が参加しました。

全国で初めて防犯カメラ設置条例を制定し、防犯カメラの運用により劇的な犯罪抑止効果を上げている東京都杉並区危機管理室渡邊係長から「犯罪抑止効果とプライバシー保護の調和を目指して」、(財)都市防犯研究センター富田主任研究員から「最近の侵入犯罪の傾向と防犯カメラの有用性」の演題で講演がありました。

杉並区では平成15年に区民にアンケートを実施した結果、防犯カメラの抑止効果に期待(95%)しかし、映像流出が心配(34%)の結果を踏まえ条例を制定、平成21年8月現在、区立、民間施設、街角を含め348施設1,635台が設置されています。

その結果、平成14年をピークに一旦減少し18年増加(年間1,206件)に転じた始めた「空き巣」の件数が19年385件、20年387件と激減しています。そのほか、児童連れ去りの事案解決や、繁華街での犯罪減少など事件解決や犯罪の抑止効果が顕著に現れております。

区民からはプライバシーの保護は当然ながら施設の防犯から街全体の防犯に拡大して欲しいとの要望が出ています。

三防設ではこれ等の事例を参考に今後、関係機関と連携のうえ車上狙い抑止のための「優良駐車場制度」の確立をはじめ防犯カメラの普及に取り組んでまいります。

(松吉理事長記)

3. 第4回都道府県防犯設備士(業)協会全国大会



全国大会本会議場の模様



質問する松吉理事長

平成21年11月20日JR岐阜駅前の岐阜じゅうろくプラザにて第3回都道府県防犯設備士(業)協会全国大会が開催されました。

全国33地域協会の内、昨年より3協会多い25協会が参加、会員会社13社、警察庁、岐阜県警からも来賓を迎えて総勢78名が出席、当協会からは松吉理事長と事務局加藤が出席しました。

第1部の本会議は日防設吉田専務の挨拶で始まり、警察庁生活安全局渡邊専門官、岐阜県警本部田仲部長の来賓挨拶の後討議に入りました。

日防設から昨年の合意事項に対する実施状況と成果について、今年の全国地域協会からのアンケート結果の報告がありました。

この後、具体的な討議にはいり、松吉理事長から日防設と警察庁の連携、防犯設備士の活用の制度化をどう推進して行くのかなど質問、警察庁渡邊専門官からは日防設は警察庁の所管法人であり今後もさらに連携を強化し、防犯設備士が一層社会で評価されるよう努力して行きたいとお話がありました。

また、事務局の加藤からは停滞している防犯優良マンションの普及促進について要望しました。

休憩のあと岐阜、神奈川、千葉3協会から活動報告があり第1部を終了

第2部の講演会では、RBSS委員会三澤副委員長から最近の防犯カメラの動向とRBSS認定について1時間の講演がありました。

岐阜県防犯設備協会不破会長の挨拶で始まった第3部の懇親会も盛大に盛上がりしました。

(事務局 加藤記)

4. 地域安全・暴力追放 三重県民大会台風で中止

平成21年10月8日に予定されていた今年度の大会は、台風18号の影響により中止されました。

■ **新商品紹介・一口メモ** (三防設通信 発送時カタログ、チラシを同封しております)

・パナソニック電工 (株)



どこでもドアホン

【品番】VL-SW500KL (ワイヤレスモニター付テレビドアホン 2-7タイプ)

【発売日】平成22年1月

- ・大好評のどこでもドアホンが更に使いやすくなりました
- ・部屋中どこでも使用できる便利な「ワイヤレス子機タイプ」のインターホン

- <特徴>
- ①スリムタイプ・・・業界最薄のスリム&シンプルデザイン モニター親機の厚さ21mm玄関カメラ子機も薄くなり「W薄型」です
 - ②5型タッチパネル液晶・・・ワイドな5型液晶,更にタッチパネルで簡単操作
 - ③ワイド/ズーム・・・業界最大の表示画面で広い範囲をしっかり確認できます

・美和ロック (株)

一口メモ：カギの上手なお手入れ・・・カギが抜けにくい、差しにくいときお試しください



- ・掃除機を鍵穴につけ、左右にふって、中のゴミを吸い出す
 - ・鍵も古い歯ブラシ等で軽く掃除する
 - ・キーの切り込みを鉛筆で強めになぞる→鍵穴に抜き差しする
- ※鍵穴に油や市販の合成潤滑油 (CRC等) を注すことは絶対にお止め下さい
(油に埃が付き鍵穴内部で粘着し故障の原因になります)

■ **会員紹介**

・会員動向

新入会員	なし
退会	なし

・会員プロフィール紹介



藤村 喜成 NPO法人 三重県防犯設備協会 理事 (総合防犯設備士 第08-0256号)
 住所 三重県伊勢市御薊町新開2-7
 勤務先 伊勢日軽アルミ建材株式会社
 電話 0596-36-1288
 E-mail i-nikkei@estate.ocn.ne.jp
 趣味 読書 (山岡荘八、隆慶一郎、吉川英治など)

窓、ドア及び錠前を通じて、生命・財産を守る、住まいやまちづくりを提案していきます。

■ **事務局からのご連絡**

- ・今回、2ページでご紹介しました通り三防設としてはじめての本格的な事業に取り組んでおります。事業推進事務所は「津市東丸之内26-12MECビル2F TEL059-253-6531」です。一度お立ち寄りください。
- ・次回発行予定 三防設通信は第6号を平成22年8月にお届けの予定です。
- ・三防設のホームページアドレスは <http://www.miebouhan.com/> で、日防設はじめ全国の防犯設備士 (業) 協会ともリンクが張られておりますのでご利用ください。
- ・今後「三防設通信」をさらに充実して行くために皆様の建設的なご意見をお待ちしております。メール/ info@miebouhan.com または下記のFAXにて事務局加藤宛送付いただくようお願い致します。

編集責任者 NPO法人 三重県防犯設備協会 〒514-0112 三重県津市一身田中野93-1 (三重電業内)
 TEL 059-232-0303 FAX 059-232-5586